

令和7年度 第1回臨床腫瘍セミナー

放射線治療医ががん患者になった話 ～ポンコツながん患者から学べるところはあるのか？～

慢性B型肝炎から肝硬変へと進行し、39歳で進行肝がんと診断された放射線治療医の体験談です。この話では、病気を家族に伝える過程、検査や治療時の精神的変化、肝臓移植とドナーとの関係性、ICUでの不穏な状況、闘病中に感じた恐怖、合併症の治療、実際の治療費、患者会への参加、がん教育、そして趣味の重要性について紹介します。

ポンコツな医療従事者としての視点を交えながら、自らの経験を振り返る内容になっています。この体験から何を学び取るかは、皆さん次第です。

福島県立医科大学 保健科学部

診療放射線科学科 准教授

講師 佐藤 久志 先生
(さとう ひさし)

福島県立医科大学 医学部 卒

1993年 4月 福島県立医科大学 放射線医学講座 入局

1994年 4月 総合会津中央病院 放射線科 勤務

1995年 4月 福島県立医科大学 放射線医学講座 助教

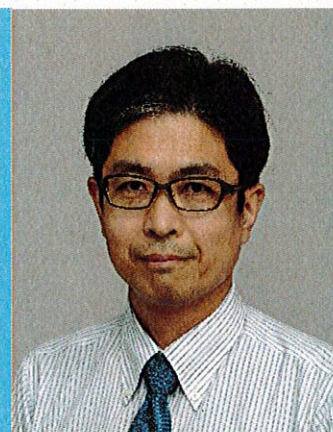
2008年 4月 肝臓がん罹患

2014年 8月 福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 助教

2018年11月 福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 講師

2021年 4月 福島県立医科大学 保健科学部

診療放射線科学科 准教授



日時：令和7年7月10日(木)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：鈴木義行先生（放射線腫瘍学講座）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本セミナーは、大学院授業要項で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。
- 大学院生は履修票をお持ち下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL: 024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】 令和7年9月12日(金)18時～19時／福島県立医科大学11号館 第1臨床講義室

(講師) 国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター長 河野 隆志先生